

国語科 学習指導案

令和4年10月 第1学年 指導者 瀧本 大仁

1 題材名 「不均等な時間」 (内山節)

2 教材観 ※省略

3 生徒の実態及び指導方針 ※省略

4 研究との関わり

現代では、情報化と国際化の発展により価値観が多様化する中で、より適切に自分の考えを論理的に伝える能力が求められていると言える。そうした中で、OECDによる国際的な学習到達度調査「PISA 2018」の結果では、日本の学習者は「自分の考えを他者に伝わるように根拠を示して説明することに、引き続き課題がある」ことが明らかになっている。この課題に対し、国語科の「書くこと」領域が果たす役割は大きい。

本校生徒は、作文や記述問題に苦手意識をもつ生徒が多い。文章を書く指導を行う際にも、どのように書いたらいいかわからず、模範解答や文例そのままの引用に留まってしまったり、自らで推敲をしながら書き進めることに難しさを抱えてしまったりしている場面が多く見られた。そうした背景には、自らの文章に対して他者から様々な観点でコメントをもらい、推敲し直す経験の不足と、それによる読み手意識の欠如があると考えられる。

そこで、ICTを用いて匿名となったクラスメイトの文章を相互に読み、それに対して評価コメントをリアルタイムで返す活動を取り入れることで、自らの考えを論理的に表現する方法を学ぶとともに、読み手の立場から自らの文章を推敲してよりよく書き直すことができる力の育成を目指していく。

5 題材の目標

- (1) 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、適切に用いることができる。【知識及び技能】
- (2) 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会と関わろうとする。【学びに向かう力、人間性等】

6 題材の評価規準

- (1) 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、適切に用いることができている。(知識・技能)
- (2) 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫できている。(思考・判断・表現)
- (3) 進んで書き言葉のもつ特徴や役割についての理解を深めるとともに、学習の見通しをもって論理展開や情報の重要度に基づいて文章構成を工夫しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

7 指導と評価の計画 (全6時間)

過程	時間	ねらい ○学習活動 ☆ ICT活用	知	思	態	◇評価項目<方法(観点)> 〔記〕:記録に残す評価
つかむ	1	●「不均等な時間」を読み、概要を把握させる。 ○「不均等な時間」を通読し、語句や内容について理解する。 ○題材となっている群馬県上野村について知るとともに、筆者がこの村を例とした理由について書く。			○	◇本文の内容を理解し、具体例が用いられている意図について考え、意見を書くことができている。 <ワークシート(態)〔記〕>

[単元・題材(小単元)の学習課題(単元・題材を貫く問い)]
論理の展開や文章構造に着目して、自らの考えをまとめる力を身に付ける。

追究する	2	<ul style="list-style-type: none"> ●「不均等な時間」前半部の内容を基に、伝統的な暮らしと近代的な暮らしの二項対立を理解させる。 ○筆者が考える上野村と隣村の違いについて、「時間」や「農業」、「生活」をキーワードにして説明する。 ○近代的な暮らしに身を置くと、どのようなものがどのように変化するのかについて、文章で説明する。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ◇本文の内容を基に伝統的な暮らしと近代的な暮らしの違いについて読み取り、適切に文章にまとめることができる。 <li style="text-align: right;">＜ワークシート（知）＞
	3	<ul style="list-style-type: none"> ●文章後半部の内容を基に、「時間の合理性」が我々にもたらす影響について文章でまとめさせる。 ○「時間の合理性」がもたらす「矛盾」とはどのようなものか、本文を基にまとめる。 ○その「矛盾」が特に一次産業において顕著になる理由について、その因果関係を文章にまとめる。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ◇本文の内容から、「時間の合理性」がもたらす影響について考え、文章にまとめることができる。 <li style="text-align: right;">＜ワークシート（知）〔記〕＞
	4	<ul style="list-style-type: none"> ●本文の構成についてまとめ、その構造を使い、社会問題に対する自らの考えをアプリケーションで文章にまとめさせる。 ○本文と同様の具体例―意見の構成で、自らの考えを意見文としてまとめる。 ○「環境」、「自然」、「食料問題」、「ジェンダー」など、総合的な探究の時間で扱っているテーマとも関連させ、必要に応じて具体例を調べさせた上で書かせる。 <p>☆アプリケーション</p>	○		<ul style="list-style-type: none"> ◇本文の文章構造を基に、具体例―意見の形で自らの考えを文章にまとめることができる。 <li style="text-align: right;">＜アプリケーション（思）＞
	まとめ	5	<ul style="list-style-type: none"> ●自らが書いた意見文をICTで共有し、コメントをもらうことを通して、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を再検討させる。 ○他の人が前時の活動でアプリケーションに書いた文章に、よりよい内容・構成にするためのコメントや助言を行う。 ○コメントをもらって気付いたことや、推敲し、書き直したいと思ったことなどを交流する。 <p>☆アプリケーション</p>	○	
		<p>【本時の学習課題】（めあて） ICTを活用して文章にコメントや助言をもらうことを通して、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を再検討する。</p>			
	6	<ul style="list-style-type: none"> ●コメントを基に文章を推敲し、書き直すことで、文章全体を整え、自分の文章の特長や課題を捉え直させる。 ○前時のコメントや助言を基に、よりよい文章のために推敲、書き直しを行う。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ◇自らの文章の特長を捉え直し、よりよい文章を書くために必要だと考えた点についてまとめている。 <li style="text-align: right;">＜ワークシート（態）〔記〕＞

	○書いた文章をグループ内で発表し、形式段落や文章の癖など、細かい点について検討するとともに、自らの文章の特長を意識し、今後文章を書く際の注意点についてまとめる。			
--	--	--	--	--

8 本時の展開（5/6時間目）

(1) ねらい

自らが書いた意見文をICTで共有し、コメントをもらうことを通して、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を再検討する。

(2) 準備

1人1台端末、前時までのワークシート

(3) 展開

時間	○学習活動 ・想定する生徒の意識 ☆ ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法（観点）>
導入 5分	1 前時の振り返りを行う。今日の活動内容について知る。 ○前回までのワークシートやアプリケーションについて振り返り、内容の確認をする。 ・本時は、前時の意見文の内容や構成をよりよくするために考えることが目標なのだ。	○生徒が本時の目的を理解できるよう、ICT上で他者の書いた文章を読み合う活動を行うことを周知する。 ○文章にコメントや助言を行う際には、文章をよりよくするため、論理展開、情報の分量や重要度などの観点から改善点の指摘を積極的に行うことを共有する。 ●これまでの活動を見直させ、自分が書いた文章はどんなものだったのかについて再び確認させる。
<p>[本時の学習課題]（めあて） ICTを活用して文章にコメントや助言をもらうことを通して、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を再検討する。</p>		
展開 ① 20分	2 他の人の文章に目を通し、コメントを行う。 ○担当となった文章を読み、論理展開、情報の分量や重要度などを評価し、コメントを書く。 ・具体例—主張の文章構成にするはずなのだが、この文章ではそれが混ざっていることを指摘しよう。	◎他の人の文章を読み、よかった点の他に、特に改善点を積極的に見付け、コメントをするよう指示する。 ○アプリケーション上では1～40までの番号の列にそれぞれの考えが並んでいるので、くじで引いた番号の文章を読むよう指示する。 ●書きづらそうにしている生徒には、書かれた文章の内容とコメントの観点をもう一度確認させ、改善点やよかった点を書くよう伝える。
展開 ② 20分	3 もらったコメントを読み、そこから見えてきた文章を推敲、改善する方向性と、この活動を通して気付いたことについてワークシートに文章でまとめ、共有する。 ○コメントから得られた気付きと、文章の改善の方向性について、ワークシートでまとめる。 ・自分の文は具体例と主張が混ざっていた。書く際は、自分が今何を書いているかを意識するようにしよう。 ○文章推敲の方向性をグループの中で言語化、共有する。 ・構成だけでなく、具体例と主張が関連しているかなど、様々な観点から文章を見直すことができるな。	◇読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する方法を考えることができている。 <ワークシート（思）〔記〕> ○コメントのとおり自分の文章を直すべきか悩む点については、グループでの共有の際に投げ掛けて、考えてみるよう指示する。

まとめ 5分	<p>4 本時で学んだ点を振り返る。</p> <p>○今日の活動を振り返るとともに、次の書き直しに向けた目標をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分では構造化された文章だと考えても、読み手からすると書き換えが必要な場合があるのだな。 	<p>◎後日、本時で行った活動について画像の形で出力し、クラス全体で共有することを伝える。</p>
-----------	--	---

(4) 板書計画 (アプリケーション画面、全て匿名)

Hirohito Takimoto • 1時間

「不均等な時間」の構成に基づいて文章を書く

取り組む際の注意点

【書くとき】 テーマについて

「環境問題」「食料問題」「男女格差」など、女性学で取り組んでいる社会的なテーマに基づいて選び、それについての具体例と主張を書きましょう。

選んだテーマに関わる具体例を調べたりしつつ、自らの意見を書きましょう。

コメントを追加

【書くとき】 構成について

1つ目の段落に、具体例と問題点

2つ目の段落に、具体例を踏まえた「社会をこうすべき」という主張や、問題の解決策を書きましょう。

「不均等な時間」本文と同様の構成で論理的に文章をまとめる形で取り組みましょう。

コメントを追加

【読むとき】 自分に割り当てられた文章にコメントを書こう

教科書で示した例文や、以下の観点からコメントをしてください。

- ・教科書と同様の、具体例一意見の構成になっているか
- ・主張をする上で重要でない内容、 unnecessaryな記述はないか
- ・挙げられている例は、主張の内容と合っているか、ズレはないか
- ・正しい漢字や言葉遣いで書けているか

皆さんの投稿には名前が表示されませんので、自分の考えをしっかりと書こう。

コメントを追加

1 森林破壊 前半

環境問題はさまざまな問題があり、深刻な問題となっており、例えば、地球温暖化、砂漠化、酸性雨、森林破壊などが挙げられ、その中でも、一秒間にテニスコート二十面分が消失されるという速さで進行している森林破壊は大変深刻な問題となっており、地球温暖化の原因になると言われている。森林破壊は、人口爆発による貧困が主な原因だといわれている。

コメントを追加

一文が長いかな？

「おいる」になってるよ！

森林破壊と人口爆発のつながりを教えてほしいな！

コメントを追加

2

3

森林破壊 後半

このような問題は、先進国である日本やアメリカ合衆国が積極的に貢献できる人材や資金を派遣し、発展途上国の経済的発展を促していく必要があると考える。自国のことばかりを考えていては、この大きな問題は解決することはできず、地球が死滅してしまいます。環境問題は決して一つの国に止まる問題ではないことを過程に置き、問題の対策を練る必要がある。

コメントを追加

地球が死滅っていうかな??

前半とつながっている？

コメントを追加